

IRB番号「2023-GB-073」

研究課題名「周在性の広い表在型食道癌におけるESDとCRT/RTの治療成績に関する検討」

1. 研究の対象

2005年5月1日から2019年12月31日までに当院で、2/3周以上の周在性を有する食道癌に対し、ESDあるいはCRT/RTを行った方

2. 研究の目的・方法

表在型食道癌の治療は、低侵襲かつ根治性・安全性が高い内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）が選択される機会が多くありますが、切除した粘膜の周在性が3/4以上に及ぶ病変や、50mm以上の病変などは、合併症としてESD後に食道狭窄となることがしばしば起こりえます。食道狭窄は、食事や飲水が困難になるなどの、患者さんの生活の質を損ねる重要な合併症であり、狭窄の治療に頻回の内視鏡的バルーン拡張術を要することがあります。この食道狭窄に対する予防として、ステロイドの局注や内服などの対策が行われますが、それでも狭窄を来し、拡張術を要することがあります。そのため食道癌診療ガイドライン2022では、周在性の広い表在型食道癌に対しては、ESDの他に化学放射線療法（CRT）や放射線療法（RT）、また外科手術が治療の選択肢として挙げられておりますが、これらの各治療を比較した報告は少ないことが現状です。今回、2/3周以上の周在性を有する表在型食道癌に対してESDあるいはCRTまたはRTを行った症例に対し、その有効性や安全性を比較検討します。

3. 研究期間

承認日 ～ 2025年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：治療法や内視鏡所見、病理学的所見、CT画像所見、治療反応性や合併症、予後等（電子カルテより）

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 消化器内科 医員 山本 浩之
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141